編集部 PICK UP ！

食品トレーサビリティシステムの構築に最適なツール

Category　統合システム

原価計算機能を備えた、みんなで見える生産販売統合システム

「Craft Line（クラフトライン）」

㈱ローゼック　☎ 03-6683-1019　http：//www.rozec.co.jp/

トレーサビリティの仕組みを持ちながら、原価計算もできる。さらに、各製造ラインが「もうかっているかどうか」を社内の関係者がみんなで閲覧できてしまう。そんな新発想の生産販売統合システムが、「Craft Line（クラフト ライン）」だ。食品製造現場へのシステム導入で豊富な経験を積んだローゼックが、ユーザー視点でじっくりと時間をかけて開発。多機能で工場を統合的に管理できるシステムでありながら、小規模の事業者にも導入しやすいパッケージとなった。

同システムは、主に生産、トレーサビリティ、販売、在庫、受発注などの各管理システムに加え、ロットごとにリアルタイム原価計算ができる独自の機能を備えている。

原価計算機能を活用するに当たっては、入荷単価や投入量、完成量、作業時間などの各データを入力する必要があるが、システムが自動的に計算・分析してくれるため、標準原価との大幅な差異が発生した場合は、警告を発することも可能。「気が付かないうちに赤字の仕事をしていた」というような事態が避けられる。

ある惣菜工場では、「原料の価格変動を原価計算に反映できず、日々の損益把握が困難だった」という深刻な課題を抱えていたが、システムの活用でその日のうちに損益を正確に把握できるようになり、問題の早期発見や迅速な業務改善につながったという。

システムのホーム画面は、直感的に素早く各メニューに移動できるレイアウトも魅力的だが、そこにさまざまな警告情報を表示できるのが、このシステムの要（かなめ）である。例えば、未入荷情報や停滞在庫、原料資材や製品の消費期限切れなどのほか、各ラインでの損益状況も警告情報にアサインできる。こうした重要な情報を閲覧者全員が共有することで、問題を見過ごすことなく、対応がより迅速になる。クラフトラインは、まさに現場改善の掲示板ともいえる存在だ。

ホーム画面例。各種警告情報や前日の実績速報値が表示される。タブレットやスマートフォンでも閲覧可